

少年の主張 鏡石町大会

今月は9月号に引き続き8月6日(土)、町公民館で開かれた、第13回少年の主張町大会で最優秀賞を受賞した作品をご紹介します。

あの日から...

鏡石中三年 滝口結菜



▲中学生の部最優秀賞 滝口結菜さん (鏡中3年)さん

平成二十三年三月十一日、午後二時四十六分に起きた大地震、のちに「東日本大震災」と名付けられたが、あの日から約四ヶ月、今、皆さんはどう感じているでしょうか。

それまで穏やかで美しいと感じていた自然が、私たちに突然大きな試練を与えました。マグニチュード九・〇、国内最大級の地震は多くの人から、夢や希望・笑顔、そして命までも奪い取っていききました。

地震発生時、私は部活動をしていました。初めは小さな揺れでしたが、だんだんと大きくなって、立っている事が困難になりました。今まで経験した事のない揺れ、とても長く、ただじっと耐える事しかできませんでした。周りの木々や建物が左右に大きく揺れていました。一時学校に避難し家に帰るまでの道のりは、朝と違っていても悲惨でした。又、家に帰ってからも、何分おきの余震には恐怖を感じました。テレビをつけるとどの番組も地震に関する内容ばかりで、画面の中は恐ろしく、夢でも見ているかのようでした。巨大な津波が、沿岸付近の家や建物を次から次と飲みこんでいく映像や、石油コンビナートが燃え、火災が発生し、あたり一面赤くなっている映像が流れていました。その瞬間私は、現実であってほしい、夢であってほしいと心の中で思っていました。しかし、それは現実であってほしい、夢であってほしいと心の中で思っていました。この先どうやって震災の前のような明るい町

にするのか、どうやって乗り越えていくのかという思いが、たくさんの方の頭をよぎったことでしょう。

地震発生から次の日、また嫌なニュースが流れてきました。それは、原発問題です。私は今まで原発について考えたこともありませんでしたが、急に身近な問題になってしまい不安になりました。聞いたことがないような言葉や単位、詳しくは分かりませんが、今後、体に影響がないだろうかとても心配で仕方ありませんでした。次から次へと様々な問題が起こり、私たちに不安を与え、暗くなるばかりでした。

しかし、テレビで、ボランティアをしている人や、被災しても苦しい表情を見せず、笑顔で生活している人、命懸けで原発問題を一日でも早く解決しようと頑張っている人などを見るととても勇気が出ます。そして地震発生から少しづつ町が復興していく間、水や食料の大切さ、助け合うことの大切さ、などたくさん事を学ぶ事ができました。しかし、私に何かできることはないか、私に役に立つことはないか、という問いは私の心の中にいつまでも渦を巻き解決しませんでした。今、現在も風評被害や原発の放射能問題など解決されていないことがたくさんあります。そんな中、4ヶ月たったある日、私はある写真集を見て自分の中の何かが変わりました。地震の被害や津波などの様子が写された写真集です。これまでに、私は三月十一日に起こった地震を少しでも忘れようとしていました。でもその写真を見て皆さんのことを考え、感じました。津波に流された人や建物の下敷きになってしまった人など数多くの人が命を落としました。その人たちは、きっと生きていたかったでしょう。命が尽きる直前まで、「生きたい、生きたい」と思っていたでしょう。まさか自分がまきこまれるとは、思ってもいなかったでしょう。そんなことを考えていると、とても心が痛くなりました。

あの日から4ヶ月たっていますが、今何をすればいいのか、大切なことは何か私にはあまり分かりませんでした。しかし、今はこう考えます。それは、あの日起こった地震のことを一生忘れないこと、今を一生懸命生きることです。なぜならば、この地震で亡くなった多くの人たちのためにも、精一杯生きて次の世代に伝え、穏やかで美しい、平和な日本になってほしいからです。何か人の為に役に立つことはできなくても、一日一日を大切に、幸せだと感じながら生きていくことは誰だってできることだと思えます。

だから私は、周りの人と支え合い助け合いながら、今を大事に精一杯生きたい。日本が、福島県が、そして鏡石町が元通りに復興することを祈りながら...

消費者の安全・安心のために

町独自の土壌・農産物のモニタリング結果

町では、震災による原発事故により放射性物質が東日本全体に降り注ぎ、農産物に対する食の不安が高まっていることを受け、農産物や土壌の放射性汚染検査を実施しています。

土壌調査は、町内各所(表1)で検査した結果、放射性ヨウ素は全て検出限界以下(機械で計測できる最も小さい値以下)、放射性セシウムは、ほとんどの地点で政府の定めた基準値(1kgあたり5,000ベクレル)以下となりました。また、採取された農作物についても全ての作物で検出限界以下という結果となりました(表2)。

表2 農作物放射能汚染検査結果

Table with 4 columns: 検査日, 検査地区, 検査対象農産物, 検査結果. It lists inspection dates (8/18 and 9/14) and various agricultural products like 'あまぎくすり', 'りんご', 'じゃがいも', etc., all showing results below the detection limit.

※検出限界値は20ベクレル

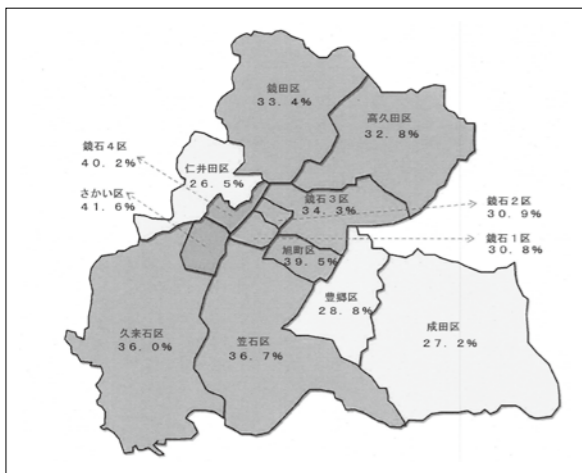
表1 ため池及び土壌分析調査結果(8月24日検査)

Table with 5 columns: 箇所, 種類, 線量測定値(地上高1cm), 放射性ヨウ素Bq/kg, 放射性セシウムBq/kg. It lists various locations like '久来石地内', '仁井田地内', etc., and their respective radiation levels, all within safe limits.

※土壌は地上5センチまでの土を採取

行政区別住宅用火災警報器設置率

平成22年9月30日現在



消防署からのお願い
消防署では、町内の住宅用火災警報器の設置状況を把握するため、全町民の皆さんを対象にアンケートを実施します。回答が届きましたら、アンケートへの協力をお願いします。

秋の全国火災予防運動

11月9日~15日

~消したはず
決めつけないで
もう一度~

11月9日(水)から15日(火)は秋季全国火災予防運動期間です。これから寒くなる季節となり、暖房器具を使用する機会が多くなります。そのため乾燥した空気と相まって火災が多発する季節です。

す。火の管理には十分注意しましょう。
また、火災による被害を防ぐために、住宅用火災警報器の設置が平成23年6月1日から全ての住宅で義務化されました。
毎年多くの方が火災により亡くなっています。警報器を設置することで、逃げ遅れによる被害を大幅に減らすことが出来ます。まだ設置がお済みない方は、早急に住宅用火災警報器を設置しましょう。
◎問い合わせ先
須賀川消防署鏡石分署
☎62-4511